令和８年度　広島県病害虫発生予察情報　　技術情報第４号

令和８年１０月１日（木）発表　広島県西部農業技術指導所

～野菜・花き　シロイチモジヨトウが増えています！～

県内に設置しているフェロモントラップでシロイチモジヨトウが多数誘殺されています。広島県では今後の気温が平年より高く推移する予測であることから、シロイチモジヨトウの活動に好適であるため、被害が懸念されます。ほ場内で若齢幼虫の発生を確認したら直ちに防除を行いましょう。

発生概況について

（１）　シロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺が、概ね９月第３半旬ごろからこれまで急激に増加し続けており、例年と比較して非常に多い誘殺数となっています（図１）。

（２）　県内における９月第１半旬から９月第４半旬までの合計誘殺数は、地域差はありますが、多い地点ではシロイチモジヨトウの誘殺数が平年比で約２～３倍となっています。（表１）

（３）　向こう１か月、広島県内においては気温が平年よりも高くなる見通しであることから、活動に好適な環境となるため、次世代幼虫により被害を受けることが見込まれます。

（４）　９月中旬に実施したキャベツほ場の調査においても約６割のほ場でシロイチモジヨトウ幼虫の寄生・被害を確認していますので、引き続きほ場の観察をお願いいたします。

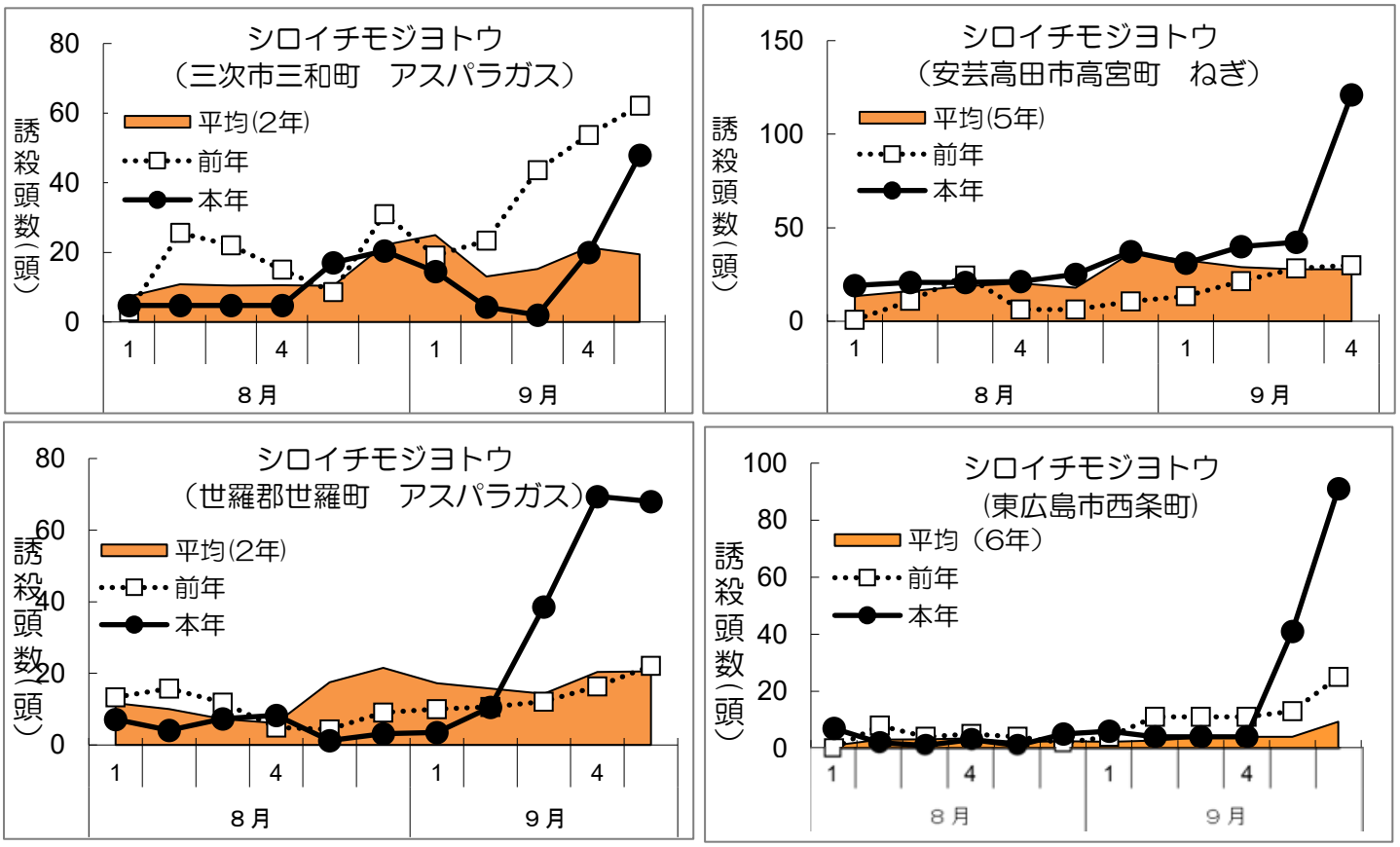


図１　フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの発生消長（８月第１半旬～９月第４、５、６半旬）

表１　フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの合計誘殺数（９月第１半旬～９月第４半旬）

		誘殺数		
地域	作物	本年	平年	平年比
三次市	アスパラガス	88.6	94.2	0.94
世羅町	アスパラガス	190.0	88.4	2.15
安芸高田市	ねぎ	234.4	117.1	2.00
東広島市①	ばれいしょ	239.8	522.3	0.46
東広島市②	－	59.0	16.8	3.50

防除対策について

（１）　本種の特徴

①幼虫（図２）は、広食性で多くの野菜類、花き類及びだいずなどを加害します。

②成虫（図３）は灰白色の毛におおわれた卵塊を葉裏に産みつけます（図４）。ほ場を見回り、卵塊が多くみられる場合は、幼虫の発生に注意しましょう。

③ふ化直後の若齢幼虫は作物を集団で加害します。また、中齢・老齢になってくると農薬の効果が低下するため、卵塊や若齢幼虫を確認したら速やかに防除してください。



図２　シロイチモジヨトウ中齢・老齢幼虫



図３　シロイチモジヨトウ成虫



図４　シロイチモジヨトウ卵塊

（2） 防除上の注意

①これらの幼虫は中齢・老齢になると薬剤の防除効果が低下するほか、ねぎにおいては葉身内に入り込んで薬剤がかかりづらくなるため、早期発見に努め、若齢幼虫のうちに防除しましょう。**なお、若齢幼虫の発生時期（防除適期）は、フェロモントラップへの雄成虫誘殺ピークの7～10 日後が目安です**。

②施設栽培の場合はハウスの開口部に4㎜以下の目合いの防虫ネットを張ることも効果的です。

③最新のフェロモントラップへの誘殺状況は、「ひろしま病害虫情報」ホームページでご確認ください。

④薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機作の薬剤をローテーション散布しましょう。

⑤他県では薬剤の殺虫効果が低下している事例が多数報告されているため、散布後もほ場を確認し、防除後の効果を確認してください。

⑥薬剤散布については、農薬使用基準を遵守しましょう。収穫前日数に注意し、周辺作物への飛散防止対策も行ってください。

⑦なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（https://pesticide.maff.go.jp/）」を参照してください。

● お問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739－0151
東広島市八本松町原6869
TEL：082-420-9662（直通）

ひろしま病害虫情報 メルマガ登録はこちら

ひろしま病害虫情報 検索



ひろしま病害虫情報
（https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/）